

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業の現状（DO）	事務事業名	No. 620503	消防団車両運営管理事業				主管課名	防災安全課			
	この事務事業の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	近藤 友久			
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち								
		基本事業	消防の充実								
(1)事業の概要											
消防車両の維持管理を行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
						名 称		単 位			
						消防団車両数		台			
						その指標					
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		消防車両の燃料費や点検・修理代等、車両の維持管理にかかる費用の支払い。									
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
消防団車両						名 称		単 位			
						点検回数		回			
						その指標					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
車両を管理、運行する						名 称		単 位			
						車両の修理回数		回			
						その指標					
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
生命と財産を守る。						名 称		単 位			
						消防団員実数		人			
						火災発生件数		件			
						消防水利設置数		ヶ所			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		台	16	15	15	15	15	15			
(6)の対象指標		回	31	31	34	34	34	34			
(7)の成果指標		回	1	4	3	3	3	3			
(8)の結果の成果指標		人	331	363	360	360	360	360			
		件	29	33	20	20	20	20			
		ヶ所	753	758	758	758	758	758			
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目 01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	2,148	4,161	3,555	3,555	3,555	12,809			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	631			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	1,082	3,095	0	0	0	0			
	一般財源	千円	1,066	1,066	3,555	3,555	3,555	12,178			
人件費 B		千円	1,107	1,879	1,879	1,879	1,879	1,879			
正職員従事時間×人数		時間×人	150×2	500×1	500×1	500×1	500×1	500×1			
正職員以外の人件費		千円									
その他費用 C		千円									
トータルコストA+B+C		千円	3,255	6,040	5,434	5,434	5,434	14,688			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/回	105	195	160	160	160	432			
		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620503消防団車両運営管理事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和23年 から		市内には消防団車両として、ポンプ自動車と小型ポンプ自動車の2種が配備されているが、現在の小型ポンプ自動車は改良が進み、従来のポンプ自動車の機能も備えるようになり、価格も安価であるため、小型ポンプ自動車に更新しているが、ポンプ自動車が2台であるのに対して小型ポンプ自動車は11台となっている。日頃の消防技術を競う操法大会もバランス（従来はポンプが6台、小型が7台であった）が崩れてしまっている。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
消防団を整備するとともに、消防力の強化のために小型ポンプ積載車、消防ポンプ自動車を配備した。			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない		変化しNox・PM法が施行されたため、消防団車両の内容変化している	
変化している		早期な更新が必要となった。	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
		自治事務	根拠法令	消防組織法	この事務を行う根拠又は理由		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由	市町村の消防に要する費用は、当該市町村が負担することとなっている。			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容			
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容			
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由 又は 内容				
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由 又は 内容	火災の発生件数によるため。			
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容	
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	内容				
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	内容				
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容				
公平性	受益者がいない						

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	ポンプ自動車は、価格も安価で機能的にも遜色のない小型ポンプ自動車へと切り替えていくが平成23年時点ではポンプ車が2台と小型ポンプが11台となっているため、早期に全分団車両を統一していく。					